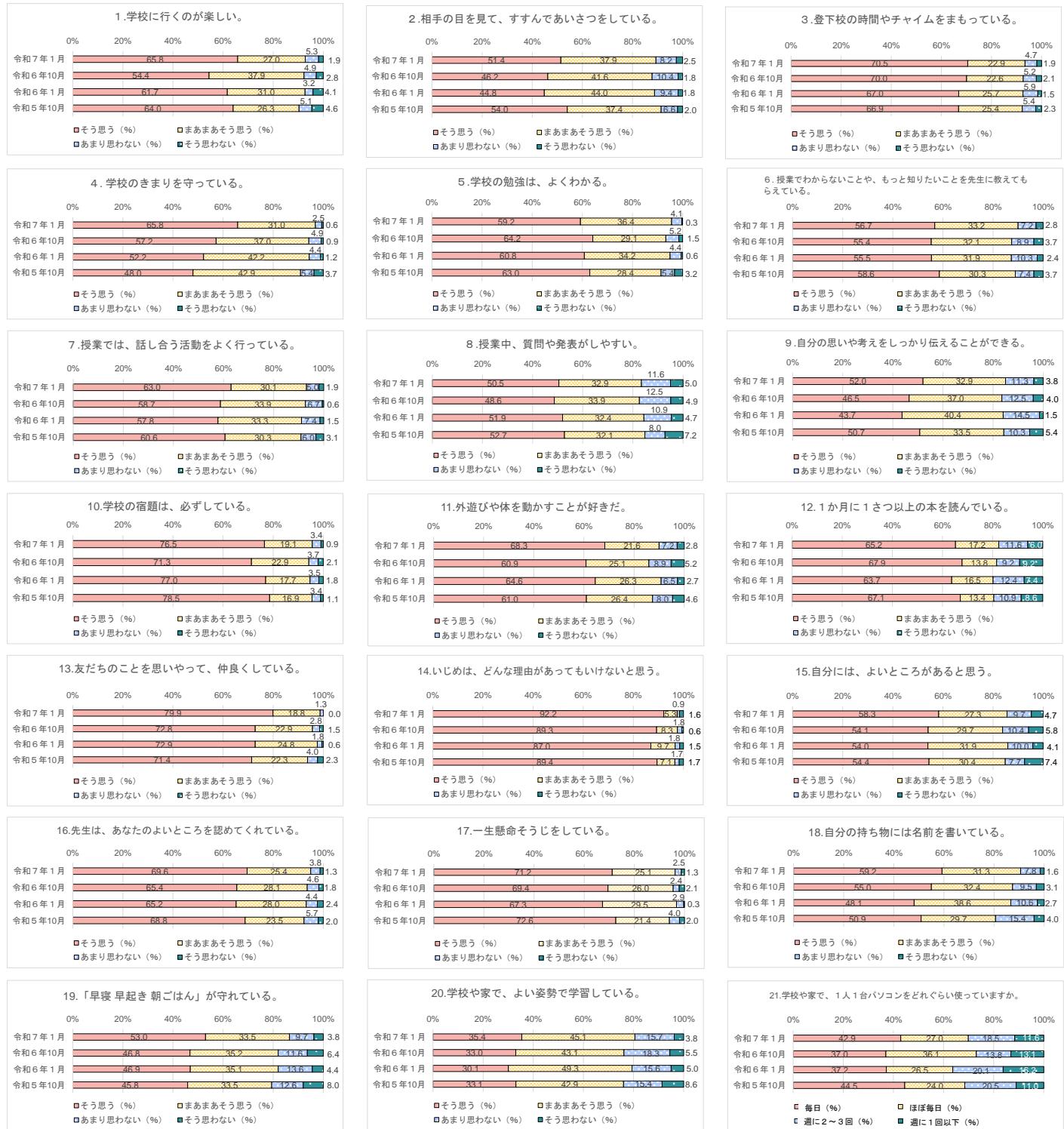


令和6年度「学校教育アンケート(児童用)期末調査」の集計結果について【全学年】

大阪市立焼野小学校

1月に実施した「学校生活アンケート(児童用)期末調査」の集計結果をお知らせします。調査結果は学校の活性化に役立てていくとともに、結果から見えてきたことを、今後の教育活動に生かしてまいります。(※回答総数は319人です。)



【分析と今後の取組み】

◆学習について

95.6%の子どもが「5.学校の勉強は、よくわかる」と感じており、中間調査より肯定的回答の伸びが見られました。また、「6.授業でわからないことや、もっと知りたいことを先生に教えてもらっている」「7.授業では、話し合う活動をよく行っている」「8.授業中、質問や発表がしやすい」「9.自分の思いや考えをしっかり伝えることができる」の項目では、いずれも80%以上の肯定的回答があり、中間調査より伸びが見られました。今後も、子どもが「わかる」「できる」「楽しい」を実感できるよう学習活動を工夫したり、大型モニターや1人1台学習用端末などのICT機器を積極的に活用したりするなど、子どもにとって達成感や充実感を感じることができる授業づくりに日々取り組んでいきます。

◆生活について

「2.相手の目を見てすすんであいさつをしている」では、89.3%の子どもが肯定的に回答しており、中間調査より伸びが見られました。本校では高学年の子どもたちが毎月「あいさつ運動」を行っています。今後もより多くの子どもが進んで気持ちのよいあいさつができるよう取組みを継続します。「4.学校のきまりを守っている」では96.8%の肯定的回答がありました。「そう思う」の回答が大きく伸びており、子どもの規範意識の向上がうかがえます。今後も生活目標の取組評価や生活指導上の課題について全教職員で共通理解し、子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、一貫した指導に尽力します。

◆友達関係について

98.7%の子どもが「13.友だちのことを思いやって仲良くしている」、97.5%の子どもが「14.いじめはどんな理由があってもいけないと思う」と回答しています。本校では同学年、また、異学年の子どもも同士の交流活動を大切にするとともに、年間3回設定している「いじめについて考える日」などを通して子どもや教職員の「いじめ防止」の意識を高めるよう取り組んでいます。今後も引き続き、いじめの未然防止に取り組むとともに、思いやりあふれる学校づくりを進めています。

◆学校生活全般について

92.8%の子どもが「1.学校に行くのが楽しい」と感じており、中間調査より肯定的回答の伸びが見られました。子どもたちが概ね落ちていた学校生活を送っている様子がうかがえます。また、95.0%の子どもが「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と感じ、85.6%の子どもが「自分にはよいところがあると思う」と感じており、子どもの自己肯定感の向上がうかがえます。今後とも、子どもたちの良さを伸ばし、一人一人に寄り添いながら、子どもの笑顔あふれる学校づくりに取り組んでまいります。本校の教育活動にさらなるお力添えをお願いいたします。